

丹波市未来都市創造審議会（第6回） 会議録（要旨）

- 日時：令和1年5月30日（木）午後2時～
- 場所：柏原住民センター 2階 会議室A
- 出席委員
 - 識見を有する者：角野幸博委員
 - 公募による市民：荻野美恵子委員、白滝里香委員、本庄健吾委員
 - 公共的団体の代表者：大野亮祐委員、酒井浩二委員、大谷吉春委員、吉住孝信委員、田中延重委員、坂谷高義委員
 - 各種団体等から選出された者：足立はるみ委員、足立由夏委員、大木玲子委員
 - 関係行政機関の職員：飯塚功一委員（平成31年4月より）
- 欠席委員
 - 識見を有する者：岡絵理子委員、北川博巳委員
 - 各種団体等から選出された者：十倉貫委員
- 出席職員
 - 丹波市副市長、技監兼入札検査部長、企画総務部長、企画総務部政策担当部長、財務部長、生活環境部長、まちづくり部長、福祉部長兼福祉事務所長、健康部長、産業経済部長、建設部長、消防長、教育部長（代理：教育総務課長）
- 事務局
 - 未来都市創造部長、未来都市創造部都市創造課長、未来都市創造部都市創造課都市政策係長、未来都市創造部都市創造課職員

議事：（1）丹波市の新しい都市構造のあり方「まちづくりビジョン」素案について

- 配布資料：【資料1】丹波市の未来をえがく Vol.6 ニュースペーパー
【資料2】まちづくりビジョン策定スケジュール
【資料3】まちづくりビジョン素案（修正版）
【資料4】まちづくりビジョン素案（主な修正箇所にかかる新旧対照表）

1 会長あいさつ

会長

年度が替わって最初の審議会となる。審議会では、過去5回の議論を重ね、様々なご意見をいただいている。さらに、市においては、4月に市政懇談会、5月にはまちづくりビジョン市民説明会を開催され、市民の皆様から意見をいただき、それらの意見を踏まえて、私と事務局で修正したものがお手元にあるまちづくりビジョンである。今後のパブリックコメントの実施に向けて、修正を行ったビジョン素案の内容についてご確認いただき、忌憚のない意見をいただくなかで、素案から原案へとまちづくりビジョンを充実させていきたいと考えている。

2 まちづくりビジョン策定スケジュール

事務局（資料2の説明）

●本年度のまちづくりビジョン策定に関するスケジュール

【意見要旨】

委員

市政懇談会及び市民説明会のどちらにも参加した。参加者の多い少ないといったことではないが、市民説明会の参加者数は154人とあり、もう少し市民の関心が高かったのではないかと、参加者が多くあったのではないかと思っている。この後に行うパブリックコメントについては、多くの市民の皆さんに見ていただき、意見をいただけるよう、事務局においてはしっかりと周知をしていただきたい。

会長

是非、しっかりと周知の徹底をお願いしたい。

3 議事

(1) 丹波市の新しい都市構造のあり方「まちづくりビジョン」素案について

事務局（資料3、資料4の説明）

●まちづくりビジョン素案について

【意見要旨】

委員

公共交通と道路網の整備で、病院等へのアクセスにおいて、バスやタクシー、デマンド（予約）型乗合タクシーという言葉が出ているが、Uber（ウーバー）という配車システムを検討することができないか。日本ではなかなか進んでいなかったが、東京・大阪ではタクシー会社と提携し、システムの導入が進んでいる。公共交通の場合は時間が決められてしまうので、思い立った時に移動したい、病院に行きたい、買い物に行きたいというニーズのためにUber（ウーバー）のようなシステ

ムが導入することを検討してもらえるよう、言葉だけでも記述があれば、もっと多様なアクセスの仕方が考えられるのでは。

事務局

53 ページのまちの姿は、丹波市で既に築いている公共交通をベースとして将来の姿を記述している。Uber（ウーバー）について、現在の丹波市の公共交通システムにプラス α で位置付けるかどうかは、具体の事務として見えていないのが事実である。

暮らしの姿のところに「MaaS サービス」という言葉を記述している。これは公共交通に限らず様々な移動手段を、総合的にICTや人工知能などを組み合わせた形で、自宅から目的地まで、あるいは、帰ってくるまでを一連の作業として注文から決済まで行う仕組みであり、そう遠くない未来に実現するかもしれないということを視野に入れて記述している。それで、不足するというところがあればご意見いただきたい。

会長

「MaaS サービス」の広い概念の中にUber（ウーバー）も含まれており、今後も提案されると思われるシステムについても含まれるという説明である。

事務局

現時点では、具体にはっきりとした表現は差し控えさせていただいている。

会長

53 ページの実現に向けた取組方向の中で、「高齢者をはじめ運転免許を持たない方を対象とした配車サービス実現による通行車両数の大幅抑制」とあるが、結果として「通行車両の大幅抑制」ということになるが、このことはインフラ整備側から見たことであり、目的はサービス水準を確保するといったことなので「による通行車両数の大幅抑制」は記述する必要がないのでは。後ほど、事務局と検討する。

委員

2月の審議会で「観光による地域振興のあり方」というテーマにレクリエーションを加えたらどうかという意見が出され、今回、65 ページの見出しに「余暇の過ごし方」という言葉を入れて修正されている。これまでは、地域振興の一環として観光があるという形であったが、説得力が後退したように思える。

本文の記述している中身の文章を読めば、観光によって地域振興を図ることは読み取れるが、これから地域振興の面において観光は非常に重要であり、「観光振興と余暇の過ごし方」に見出しが変わることで、観光による地域振興といった意味が少し薄れてしまったかのように感じる。

事務局

当初提案させていただいたものに、組み換えをすればといったご意見いただき対応した。見方を変えれば、「観光振興の表現が弱まった」というように受け止められるのであれば、そうであるのかと思う。他の委員のご意見も聞いて、修正が必要であれば修正していきたい。

会長

まちの姿・暮らしの姿の中身の記述を見ていくと、観光が産業としての視点、暮らしを豊かにする視点の両方が含まれている。見出しを誤解のないように工夫すればよいのでは。

他に意見がないようであれば、今日いただいた意見を踏まえて、パブリックコメントに向けてビジョンを取りまとめていきたい。事務局と私の方で作業を進めてもよいか。また、パブリックコメントに出す案は、事務局から皆さんに報告することを依頼する。

全委員

異議なし。

4 その他

(特に意見なし)

5 次回（第7回）審議会開催日程予定

事務局

次回は、8月7日（水）午後2時からを予定している。

審議会としてビジョンを審議する場としては最後となる。会場等の正式な通知は後日、送付させていただきます。

6 閉会

副市長

それぞれ、大変お忙しい中ご出席いただき、ご意見賜りありがとうございます。難しい課題に取り掛かり、昨年度末の審議会では「まちづくりビジョン」の素案といった形でお示し、ご意見をいただくとともに、市政懇談会・市民説明会において市民の皆様にご説明を行い、ようやく皆様の努力によりほぼ固まってきた。この間の委員の皆様のご努力に大変感謝を申し上げます。

まちづくりビジョンを策定する発端としては、少子高齢化の進行、財政の逼迫など、このまま何もしなければ丹波市の将来は大変な状況になっていくことから、なんとかしていかなければならないといったことからです。様々なアプローチの方法がある中で、都市の構造・機能をどうしていくかという視点からのアプローチを行っていくということでご議論いただいた。

住み慣れた地域で住み続けることを選びつつ効率的な都市の運営をめざしていくためにどうしていくのかといった議論を市民の皆様で行っていただきたい。将来の丹波市全体を見渡して、自分た

ちの子供たちに豊かな地域をどのように持続させていくのかといった観点から、きっちりと議論していただけるように努力していきたいと思っています。

副会長

本日は、第6回の審議会にお集りいただきありがとうございました。事務局で頑張っていたのですが、資料の送付が遅かったので、意見が出にくかったのではないかと思います。大きな変更はできないかもしれないが、熟読していただき、また何かあれば事務局の方に連絡いただきたい。

いかに、市民の皆さんの意見を聞くかというところでパブリックコメントは非常に大事であるので、各組織や各地域でパブリックコメントの実施について周知していただければと思う。

以上で終了させていただきます。

以上